

一 県會議員兼常置委員添田知義ノ挙動  
本人ハ出港ノ際横浜(□)大全派ノ倶楽部ヘ出入シ居ルノ所

【21】  
秘川乙第三五号

臨時通報

昨年来ヨリ全党ノ壯士運動費トシテ金拾円ツ、毎月出金ナシ居リタルニ今回廿五円ツ、出金ナシ呉レ候様申(へ走)込マレタルニ全人ハ容易ニ応セス如何ナル事ニ使用スルモノニヤ使用ノ道明白正大ナルトキハ応セサルニアラス然ルニ漠然トシテ請求サレテハ応スル能ハス目下常置委員トナリ三十円ツ、取ルモ廿五円出ストキハ五円ノミ五円位ニテハ何タル費用ニモ足ラス然シ廿五円ノ請求ニシテ正当ノ理由アラハ応スルモ唯タ運動費トシテ出金ヲ請求サレテハ応スルコト能ハス云々ト答ヒタルヨシ

一 自由党ノ不和熟

自由党愛国公党大全派ノ三党ハ連合一団(「結」)トナリタルモ和熟セス来タル八月頃東京ニ於テ懇親会ヲ開クモ却テ不和熟ヲシテ一層甚シカラシメントスルモノニ近シ云々ト風評セリ

一 中島信行ノ件

久良岐郡ニ於テハ中島信行ニ望ヲ属シ居ル者アルヨシ然ルニ全人ハ高坐郡ヨリ衆議院議員ニ選挙セラル、コトニ決定シタルニ付他郡ヨリ選出セラル、コトハ謝絶シタルニ拘ラス久良岐ノ或一部分ノ財産家ハ全人へ投票スルヨシヲ風評セリ

一 収税長添田知道ノ挙動

全人ノ件ニ付是迄報道ナシタルコトハ数度ニ候所當時ノ景況ヲ見ルニ衆議院へ議員トシテ出ントスルヨシ風評セリ然シ一(且)ハ選挙セラレンコトヲ希望シタルモ老朽ノ身ナルヲ以テ断念シ且ツ其筋ノ議論モアルヲ以テ望ヲ捨テタルニ付投票スルハ見合セ貰ヒ度キ旨全人ノ長男ナル町田村ノ村長添田知義ハ公然申居ルモ内実ハ否ラスシテ父ヲ衆議院へ出サント思ヒ亦知道モ出ント欲シ窃カニ知義ハ腹臣ノ者ヲシテ遊説セシメ之レカ為メ町田村ハ一円知道へ投票セントシ亦大師河原村ノ中海苔営業者ノ党派ナル内田佐五右衛門等ノ者モ知道へ投票スルヨシ亦日吉村ノ村長深瀬啓十郎モ知道ヲ出ントシ全人ノ為メニ勞ヲ執リタルヨリ之ニ全意ヲ表スル者ハ全村ノ中字矢上

南加瀬北加瀬等ノ人民ハ知道へ投票スル心組ナルヨシ亦田島村ノ中字大島ノ人民モ添田へ心ヲ寄せ全人へ投票スルヨシ  
右報告候也

明治廿三年六月六日

川崎分署長

警部長 梶田定吉

【22】

秘川乙第三六号

領収証

一金参円也

右ハ明治廿三年五月中高等警察機密費

右ハ正ニ領収候也

明治廿三年六月四日

川崎分署長

警部長 梶田定吉

【23】

秘川乙第三七号

請求書

一金参円也

明治廿三年五月中高等警察ニ関スル機密実費支払高

右御渡相成度此段及請求候也

川崎分署長

警部長 梶田定吉

明治廿三年六月四日

警部長 高橋仲次殿

支出明細書

一金参円也

内訳

一金参円

右ハ高等警察事務探偵ノ為メ巡查中村豊吉ヲ使用シ全人へ渡シタル其費用ニ付請取書ヲ添

一金壹円

右ハ小官ニ於テ直接該事務ニ従事シ消費シタル金額

一金五拾銭

右ハ監督補巡查石井亥吉ヲシテ該事務ニ従事セシメタル際消

費シタル金額ニ付請取書ヲ添

一金五拾銭モ

右全断ニ付監督補巡查久下光廣へ下附セリニ付請取書ヲ添

右之通支出相違無之候也

川崎分署長

明治廿三年六月五日

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【24】

秘橋乙第八十二号

本年四月分高等警察機密費金三円別封之通及送附候条請取証御廻付可有之候也

明治廿三年六月三日

橋樹郡警察署長

警部 黒河内良<sup>\*</sup>

川崎分署長

警部 梶田定吉殿

<sup>\*</sup> (印文) 「神奈川県橋樹郡警察署長」

【25】

秘川乙第三八号

臨時通報

一大師河原村会解散ノ件

一昨七日午后四時頃全役場ニ於テ村会ヲ開(タルノ)キ(所)

郡長及郡書記二名臨会シ議事ニ着手シタルノ所旧戸長等ニ不

正ノ事云々ニ論及スルニ及ヒ議事外ニ渉ルヲ以テ解散(スル

ニ)セシムル旨郡長ノ命ニ依リ直ニ解散シタルヨシ

一右解散ヲ命セラレタル者ノ党派ハ其夜密々集會協議ヲナシ深

更ニ至リタルヨシ其集會シタル者ノ中巨魁ノ位置アル者ハ右

渡当(「藤」)太郎 大山庄兵衛 泉(「和泉」)源三郎等

ニシテ其協議ノ件ハ斯ノ如ク解散サレテハ村内行立タス依テ

此ノ旨ヲ内務大臣へ具申セントノ事ナリシヨシ亦是迄村内ノ

紛議ニ敢テ關係セザリシ豪農家ナル泉(「和泉」)茂八モ右

集會へ臨ミタルヨシ

右報告候也

川崎分署長

明治廿三年六月八日

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【26】

秘川乙第三九号

臨時通報

一大師河原村々内景況

一本月七日村会ノ解散ヲ命セラレタル旨不取敢臨時通報致置候

所右解散ハ八日ノ誤リニテ全日午后五時頃ヨリ村会ヲ役場ニ

於テ開タルノ所(遂)終ニ郡長ヨリ解散ヲ命シタルヨシニテ

解散ノ理由ハ左ノ如シト云フ

曩キニ全村会ニ於テ内田佐五右衛門外三名(ヲ以テ)ノ公民

権ヲ(剥奪シタル)停止ノ(処分ヲ)議決シタルモ該議決ハ議

員三分ノ二ニ足ラサル者ノナシタルヲ以テ無効ナルニ付取消ス

旨郡長ヨリ該村会へ達シタルニ村会ハ始メテ無効ノ議決ナリ

シヲ知り内田佐五右衛門等へ右ノ趣ヲ通知シ更ラニ右八日ニ

村会ヲ開キタルニ此(ニ)ノ日会シタル者ハ一旦公民権ヲ停

止サレタル(者ナル)内田佐五右衛門外三名ノ者モ出席議事

ニ着手シタルニ議員石渡当(「藤」)太郎ハ内田等(へ)ニ対

シ公民権停止(シタル)ノ議決ハ無効ナリトノ(事ヲ)茲ニ臨會

サレ居ル郡長ヨリ(御)達ナルモ果シテ無効ナル議決ナリシヤ

否ヤヲ議セント発言シタルニ賛成者アル所ヨリ遂ニ之カ議題ト

ナリ(已ニ議)タルニ際シ郡長(□□)ハ発言シテ曰ク此ノ席

ニ内田佐五右衛門外三名ノ者ガ依然居並ヒ俱ニ議事ニ従事ス

ルハ規則ノ許サ、ル所ナルヲ以テ内田外三名ノ議員ハ此ノ議事中ハ退席セサルベカラス云々ト之カ為メ右四名ノ者ハ直チニ退席セリ然ルニ右四名ノ者ガ退キタルニ残リタル議員ハ三分ノ二ニ滿タス三分ノ二ニ足ラサル議員ヲ以テ議事ヲナス能ハス故ニ此ノ残居ル議員ヲ以テ公民権停止ノ処分ヲ議スルノ權ナキヲ以テ議事ヲ開クコトハ規則ノ禁スル所ナルニ付解散ヲ命ス云々ト

右ハ解散セラレタルノ理由ナリト云フ

右解散ノ為メ泉（「和泉」）源右衛門川崎（「島」）富右衛門外十名計リノ者ハ頗ル遺憾ニ思ヒ協議ノ后左ノ如キ書面ヲ郡長ヘ差出シタリト云フ（「ニ」）

村内公共ノ事業ヲ顧ミス我儘勝手ノ振舞ヲナス議員内田佐五右衛門外三名ノ公民権停止ノ議決ヲナシタルニ郡長ニ於テハ該議員ヲシテ依然議員タルノ位置ニ置ントナシ我々ノ議決ヲシテ無効ノ者トナシ而シテ再応内田等ノ処分ヲ議セントセシニ議員三分ノ二ニ足ラサルヲ以テ議事ニ着手スルコト不相成トテ解散ヲ命セラル去リトテ斯ノ如キ不法議員ナル内田等ヲ其位置ニ置クトキハ村内ノ不利益タルヲ免レス必スヤ氣儘不法ノ行為ヲ働キ良民ノ財産ヲ横奪スルコトアルナラン故ニ此ノ議員ノ議シタル事柄ニハ服従ナス能ハス爾來村税ニアレ何ニアレ村会ノ議決ニハ応スルコト（「□」）謝絶シ一錢タリトモ村税ヲ納ムル訳ニハ參ラス依テ將來該村会ノ議決ニハ一切服セサルモ差支無之ヤ否ヤ万一服従スヘキモノトノ御意見ナレハ三日内ニ其理由御明示ヲ乞フ若シ三日内ニ御明示ナキトモハ知事ヘ伺出ル存念ニ有之候云々ト（「大要」）認メタル伺書ヲ去ル九日ヲ以テ郡衙ヘ呈出セリト云フ

一 去ル十日午後三時頃ヨリ議員大山庄兵衛宅又ハ料理店松葉屋方ニ集会シタルヨシニテ此ノ集会シタル者ハ（「□□」）内田佐五右衛門等ノ反対党ニシテ其議シタルコトハ明白ナラサルモ内田佐五右衛門等ヲシテ議員ノ職ヲ去ラシメントスルニアリ

シヨシ（「□□」）亦此ノ内田等ヲ退職ニナシタル以上ハ議員補欠ノ選挙会ヲ開キ自党ヨリ新議員ヲ（「□□」）挙げ不殘全（「種類ノ」）党派ノ者ヲ以テ議會ヲ組織セントスルニアリト云フ

一 昨十一日郡長ハ郡吏三四名ヲ從ヒ村会解散ノ件説諭ノ為メ出張セリト云フ

一 目下斯ノ如ク村内ノ紛議不和熟ナルニ付村長ノ人物如何ニヨリ幾分カ村内ノ平和ヲ保全スルナラン然シ目下ノ村長ニテハ到底平和ヲ回復スルコト難キモ全村字塩浜ノ泉（「和泉」）茂八カ村長ニナリタルコトナレハ或ハ平穩ニ歸スルコトモ容易ナラント風評セリ

右報告候也

明治廿三年六月十二日

川崎分署長

警部 梶田定吉

【27】

秘川乙第四〇号

定期通報

一 議員選挙ノ競争

一 中島信行ヨリ七八日前トカ町田村々長添田知義ヘ対シ左ノ如キ書面ヲ郵送セリト云フ

貴下ノ周旋尽力ヲ以テ山田泰造ヘ投票スル様村内ノ選挙人ヘ勧誘セラレ度キヨシ

一 添田知義ハ二三日前或ル新聞ヲ見タルニ神奈川県多数ノ意見ハ第二区ヨリ山田泰造ヲ選出スルコトニ確定セル云々ト廣告シアルヨリ大ニ反激シ右ハ事実ニ適合セサルモノニ付廣告ナシタル者ヘ掛合ハサルヲ得ス云々ト或人ヘ談話セリト云フ

一 古物商取締平川平五郎ハ五六日前吉田正春ノ為メ尽力シ各村ヘ遊説シタルヨシ日吉村助役橋本万次郎ノ如キハ平川ノ依頼ニ応シ村内ヲ誘導ナシ居ルヨシニテ吉田党ニ加名スル者続々アルヤニ探聞ス

一貧民ノ情况

貧民ノ困難ハ益ス甚シキカ如ク一日二食ノ者不少ヨシ日吉村字駒ヶ橋農民ニ田辺一作ナル者アリ麦作ノ收穫（三）ニ際シ前々ヨリ小作ノ滞納ヲ責メラレ止ヲ得ス畑ニアル麦ヲ苜取り小作ノ方ニ持行カル、有様ニテ斯ク生活ノ目的タル麦ヲ持去ラレタルヨリ宅家（八十歳ノ老人一人二人子供五人）口糊ノ途ヲ失ヒ既ニ自殺ニテモナサントスルノ悲境ニ陥リタルノ所全村内ノ慈善家ナル田辺重太郎神官河内峯三等ノ尽力ニヨリ漸ク露命ヲ保テリ云々ト其他之ニ類スル〔談〕者不少ヨシ

一〔□〕宗教ノ件

日吉村字箕輪ニ於テ天理教会ト唱フル教会ノ信者アリ該教会ハ天理三尊ト云フ神ヲ祭り病人其他願事一切ヲ叶ヘルト云觸シ該教ニ天理踊リト云フアリ亦此ノ踊ノ歌アリ此ノ歌ヲ習フ者日々増加セリト云フ

但シ尚ホ本件ハ事実取調ノ筈ニ有之候

一生産物ノ件

先般来ノ大雨ノ為メ稲苗ハ腐敗ヲ来タシ更ニ糶ノ蒔直ヲ為スモノアリテ困難ノ模様ナリシト云ヘリ

右報告候也

明治廿三年六月十二日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【28】

秘川乙第四巻号

臨時通報

一貧民ノ状況

貧民中ニ於テ最モ困難ヲ感スル者ハ左ノ如シ

日雇人足 紙屑買 飴売 箕造 叩キ大工 佐官 鳶人足

人力車輓子 馭者 馬丁 理髮職 八百屋 魚屋

右等ノ細民ハ目下困窮ノ極ニ達セントスル景況ニシテ其一班（三）

ヲ挙げレハ是迄ハ一軒毎ニ備置タル鍋釜ハ既ニ典物ニナシタルヨリ二三軒或ハ三四軒連合シテ一ケノ鍋或ハ釜ヲ共用スルニ至リタリ亦食事ト雖モ粥ヲ毎日二度位食スルニ止リ亦此ノ粥ノ中へ野菜物ヲ混和スルト云フ亦本月十三日或老（三）婆ガ当川崎町新宿ノ裏手ナル畔路ニ於テ頻リニ草葉ヲ採摘シ居ルヲ以テ其使用方ヲ尋ネタルニ最初ハ恥チテ兎ノ食ナリト答ヘタルモ遂ニ事実ヲ吐露シ老婆等一家族ノ口糊ヲ凌ク為メノ食物ニ充ツルモノナルコトヲ談話セリ実ニ憫然ノ状況ト云フヘシ

一〔貧〕貧民ハ窃ニ喜色ヲ現ハシタリ

此ノ貧民ガ喜色ヲ現ハシタル原因ヲ聞クニ貴族院議員選挙ノ為メ過日高島嘉右衛門等ノ豪商富農家ガ県庁へ集会シタル時知事閣下ヨリ貧民救助ノ事ニ談及シタル際高島等一全ノ者ハ救助ノ事ニ全意ヲ表シタルヨシニ付早晚救助金ガ下付ニナルナラント該社会ノ者ハ風評ナシ居レリ

右不取敢探聞候所報告候也

明治廿三年六月十五日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

一三郡合併ノ事

〔昨十四日〕田島村ニ於テ村会ヲ開タルニ都筑久良岐橘樹ノ三郡合併ノ事ニ議員ノ一致賛成ナシタルヲ以テ村長青木豊十郎ハ昨十四日神奈川町田中屋ニ於テ三郡村長会議〔□〕アルニ付出席セリト云フ

【29】  
秘川乙第四二号

臨時通報

一大師河原村内ノ景況

大師河原村民和泉源右衛門和泉友右衛門外六名ノ連署ヲ以テ左ノ如キ書面ヲ郡衙ヘ五日程ニ呈出シタリト云フ

川嶋勘左衛門石川長造（「蔵」）ノ兩名ガ海苔場世話人タル當時ハ毎年各營業者ヨリ苞合ツ、（此ノ代金十錢ヲ）海苔ヲ取集メ合計一石此ノ代金凡百円ノ県庁ヘ上納ナシ来リタルノ所此金タル租税ニアラス亦当然上納スヘキ義務アルニアラス然ルニ川島勘左衛門外一名ガ上納シ来リタルト云フハ不明ナル所アルヲ免レス県庁ニ於テ徵收スル理由ナキ金ヲ受領スル所以モナカラン之レ畢竟世話人が暗愚ナル營業者ヲ奇貨トシ種々ナル口実ヲ設ケ不正ニ金ヲ取立居リタルナラン就テハ果シテ県庁ニ於テ是迄右様ナル金ヲ受領ナシ居リタルモノナルヤ否ヤ御明示ヲ乞フト云フニアリシヨシ

右書面ニ付去ル十四日郡長ハ該村ヘ出張シ書面ヲ差出シタル者八名ヲ喚（問）徵シタルノ所和泉友右衛門一名ノミ出

衆議院議員撰挙ニ関スル現況 川崎分署

主 義

投票所	撰挙人	自由	大同	改進	曖昧
*1 川崎町	三十七人	三人	二十人	七人	七人
全 大師河原村	七十八人	三十二人	十八人	十人	十八人
一名 田島村	六十八人	四十人	十人	五人	十三人
全 町田村	五十九人	五人	二十九人	二十人	二十五人
全 御幸村	五十二人	二十二人	十人	二十人	二十人
二名 住吉村	五十四人	十四人	十一人	三人	二十六人
二名 日吉村	九十八人	十八人	五十八人	二十二人	二十二
計七ヶ所	四百四十六人	百三十四人	百五十六人	二十五人	百三十一人

頭シタルニヨリ郡長ハ左ノ問ヲ起シタリト云フ

県庁ニ於テ受領ナシ居ルヤ否ヤヲ明示セハ如何ナル将来（行為）事ヲナスヤ即チ不都合ノコトカアリトセハ訴ヲ起ス積リナルヤ否ヤト然ルニ友右衛門ハ之ニ対シ自分一人ニテハ返答スル能ハスト云フタルヨシ亦和泉友右衛門外七名ハ右ノ件ニ付明十七日県庁ヘ出頭スルヤニ風評セリ

一添田収税長辭職ノ件

巷説ニヨルト本月末日迄ニハ添田収税長ハ辭職ナスヨシニテ辭職ノ原因ハ第二区ヨリ衆議院ノ議員トシテ出ルヨシ

右報告候也

明治廿三年六月十六日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【30】

秘川乙第四四号

時第三七三号ヲ以テ衆議院議員撰挙投票所取締トシテ本部ヨリ二名ノ逡查差向ケ候御達ニ就テハ別表ノ如ク配置ノ見込ニ候条此段上申候也

明治廿三年六月十八日

川崎分署長

議員候補者

議員候補者

主 義	氏名	勢力	主 義	氏名	勢力
自由	山田泰造	ハリン	大同	吉田正春	五分五リン
"	"	"	"	"	二分三リン
"	"	"	"	"	五分九リン
"	"	"	"	"	一分五リン
"	"	"	"	"	五分
"	"	"	"	"	二分
"	"	"	"	"	四分二リン
"	"	"	"	"	二分六リン
"	"	"	"	"	一分九リン
"	"	"	"	"	一分八リン
"	"	"	"	"	六分

\* 1 各投票所配置逡查数

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

備考

一 川崎町ニ於テハ吉田正春ヲ投票セント欲スル者最モ多数ヲ占メ居  
リ候而シテ山田泰造派ハ多ク選挙権ヲ有セスト雖トモ同町ニハ同  
主義ノ俱樂部アリ且ツ交通便利ノ土地ナレハ或ハ壯士来往ノ憂ナ  
キニアラス故ニ特別取締ヲ要ス(レバナリ)

一 大師河原村ハ海苔営業紛紜以來村内兩派ニ岐レ頗ル激昂シテ未タ  
治セス今回ノ投票タルヤ山田派アリ吉田派アリ亦タ曖昧者アリ故  
ニ投票ノ際種々ノ混雜ナキニアラス是又充分取締ヲ要ス(レハナ  
リ)

一 住吉村ハ曖昧者甚タ多シ故ニ山田吉田ノ兩派互ニ奔走シテ勝ヲ制  
セントスル現況ニ有之是又投票ニ際スレハ種々ノ混雜ナキニアラ  
ス充分取締ヲ要ス(レハナリ)

一 日吉村選挙人ハ最モ多数ニシテ兼テ山田吉田ノ兩派互ニ競争シ居  
レハ特ニ取締ヲ要ス(レハナリ)

以上四町村ハ巡查式名宛出張為致其他ノ三ヶ村ハ先ツ名宛ニテ敢  
テ差支ナカルベシ依テ投票所出張取締巡查合計十一名

【31】  
秘川乙第四六号

秘乙第五十九号ヲ以テ多数ノ元老院議官叙任ニ付テ民間有志ノ感触  
内偵方御達ニヨリ探聞候所目下衆議院議員選挙競争ノ為メ奔走シ日  
モ足ラサルカ如キ模様ナルヲ以テ他ヲ顧ミルノ違ナキヨリ本件ニ関  
シ喋々スル者モ無之唯ダ簡短ナル評言ニ止レリ乃チ元老院ノ廃止ハ  
旦夕ニ迫リ議員ハ廃官トナリ養老金ノ恩典ニ浴スルナラン而シテ是  
迄数年政府ヘ職ヲ奉シ功勞アル官吏ヘ恩給ヲ与フル見込ナルヨリ議  
官ヲ数多任シタルモノナラン云々トノ感触ニ止リ他ニ感触ヲ起シタ  
ルコトナキヤニ探知候条此段上申候也

明治廿三年六月十九日 川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【32】

秘川乙第四五号

衆議院議員撰挙ニ関スル現況ハ調査ノ上未ル十八日ヲ以テ本部長ヘ  
進達致置候就テハ本部ヨリ巡查二名差向ケル趣ニ付其配置方ハ左ノ  
如ク相定メ進達ナシ置候

川崎町(役場) 投票所巡查二名

大師河原村 全 全

日吉村 全 全

住吉村 全 全

御幸村投票所 巡查一名

町田村 全 全

田島村 全 全

都合三名

惣計十一名

右外在署巡查二名但監督補巡查二名之ニ充ツ

右及御報候也

明治廿三年六月九日

川崎分署長

警部 梶田定吉

橘樹郡警察署長

警部 黒河内良殿

【33】

秘川乙第四七号

臨時通報

一(□)大塚成吉ノ為メニ懇親会

(一)一昨十八日午後七時頃当川崎町停車場脇手ナル待合茶屋見晴

樓ニ於テ懇親会ヲ開キタルニ其会合シタル人名左ノ如シ

代理人 大塚成吉

全 矢野太(「右」)門太

大師河原村人民 内田左（「佐」）五右衛門

全 石川長造（「蔵」）

川崎町々長 根本助右衛門

川崎町人民 根本節之助

全 青木勝治（「次」）郎

全 土屋甚左衛門

全 中野五兵衛

全 中野与右衛門

全 石輪梅吉

全 梶 貞三郎

全 小宮隆太郎

全 小宮庄左衛門

全 石井萬助

全 陶山藤五郎

右十六名ノ外氏名不明ナル者二名

右十八名中根本助右衛門ハ此ノ懇親会ヲ開クコトニ熱心奔走ナ

シタルモノニシテ此会ノ目的ハ大塚ヲ第二区ヨリ衆議院へ出ス

カ為メニシテ茲ニ会合ナシタル者ハ皆ナ大塚へ投票ナスコトニ

決定シタルヨシニテ内田佐五衛門石川長造ノ兩名ハ大師河原村ノ

選挙権ヲ有スル知己ノ者ヲ誘導スルヨシニ付当署部内目下ノ景

況ニ於テハ大塚へ賛成スル者ハ当川崎町ノ改進黨ト大師河原村

ノ内田佐五右衛門ノ党派ナラン蓋シ此ノ会席ニ於テ大塚矢野根

本助右衛門ノ三人ハ簡短ナル演説ナシタルヨシ亦此ノ会席ヲ助

クル為芸妓三名ヲ聘シ解散シタルハ全夜午後十一時頃（ナリ亦）

ニシテ酒代ヲ除キ廿円程ノ払ヲ根本助右衛門カナシタリト云フ

但シ演説ノ要旨ハ探偵中ナリ

一吉田正春ノ運動

全人ノ運動モ中々盛ンニシテ昨（「一昨」）十八日ノ夜当駅

へ来リ豪商島田武助方へ一泊シ翌朝ハ吉田正春平川平五郎大綱

村ノ飯田快三子安村ノ飯田彰重町田村ノ添田知義全小野麟之助

ノ六名ハ部内ナル住吉村御幸村日吉村等ノ各村ヲ巡回シ撰挙権

ヲ有スル重立タル者へ頼ミ回リタルヨシ

亦（「本」）全日ハ再ヒ島田武助方へ帰宿シ（「翌廿」）本日ハ稲田村

へ向ケ出発（「ス」）シタルヨシ

一島田三郎肥塚龍大塚成吉ノ演説会

来ル廿六日頃高津村溝ノ口ニ於テ政談演説会アルヨシニテ之レ

ハ島田三郎肥塚龍ノ二名ハ大塚ヨシテ第二区ヨリ出サンカ為メ

ナスヨシニテ目下其計画中ナリト云フ

一山田泰三（「造」）ノ運動

全人ノ運動モ中々盛大ニシテ日吉村住吉村御幸村等ヲ五六日前

ヨリ一戸毎ニ立寄り巡回ナシ居レリト云フ

一大師河原村々長候補者

町田村ノ村長添田知義ハ本県属池上幸操ヲ大師河原村長ニセン

コトニ奔走シ粗ホ池上ノ承諾モアルヲ以テ全人ヲ村長ニ為スコ

トヲ村内ノ重立タル者へ謀リタルノ所村民モ全意シタルヨシニ

テ二三月内ニ村長ニスル計画ナリト云フ

一大師河原村議員石渡七左衛門及川崎町旅店田中龜之助全町酒店森

松太郎ノ三名（「□」）ノ奔走ノ模様ハ左ノ如シ

右三名ノ者ハ大師河原村内選挙権ヲ有スル重立タル者ヲ訪ヒ

目下吉田ト山田ノ競争アルニ際シテハ可成山田泰三へ投票ナ

シ呉候様依頼ノ為メ（「三二」）二三日日前ヨリ巡回ナシ居レリト

云フ

一山田泰三賄賂ノ件

全人が去ル五月上旬頃トカ住吉村々長徳植竹之丞へ紙入ヲ患与

シタルヨシニテ此ノ患与シタルノ目的ハ投票ヲ得ンカ為メナリ

ト云フ然レトモ果シテ患与ナシタルモノナルカ否ヤハ頗ル不明

ニシテ徳植ハ吉田正春ノ党ナレハ容易ニ信シ難キヲ以テ目下証

憑捜査中ニ有之候

〔右臨時報告候也〕  
一政談演説会

来ル廿二日午后六時ヨリ当川崎町停車場ノ傍側ナル小川松五郎  
所有家屋内ニ於テ伊東(「藤」)仁太郎一名ニテ政談演説ヲ為  
スヨシ之レハ第二区候補者選定一件ニ付ナスヨシニテ山田泰蔵  
ノ為メナリト云フ

右臨時報告候也

明治廿三年六月廿日

川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

【34】  
秘川乙第四八号

臨時通報

一横浜煉瓦製造場紛紜ノ件

此ノ煉瓦製造場ハ御幸村南河原ニアルノ所此ノ製造場ノ件ニ関シ  
昨十九日中山郡長ハ御幸村へ来リタルト云フ今其原因ヲ聞クニ  
最初此ノ製造場ヲ設置スル際御幸村大字南河原ノ人民凡ソ六十  
名計リノ惣代トシテ南河原ノ河原治兵衛ナル者該設立者ノ依頼  
ニ応シ設立願書ニ奥印ナシタルノ所他ノ人民ハ此ノ奥印ヲ不当  
シ河原治兵衛ヲ惣代人トナシタルコトナキニ惣代ナリトノ名義  
ヲ以テ該願書へ奥印ナシタルハ不当越權ノ所為ナリトテ遂ニ横  
浜始審才(「裁」)判所へ起訴シタル所河原治兵衛ハ村會議  
員ニシテ(日本ノ習慣ニ)従前ヨリ議員ガ他ノ村民ニ代リ惣代  
トシテ事ヲ処理スルハ日本ノ習慣(ニシテ)ナルヲ以テ治兵衛  
ガ他ノ(承諾ヲ得ス)依頼ヲ受ケスシテ惣代人ノ資格ヲ願書ヲ  
明記シタルハ越權不当ノ処為ニアラスト判決(□)ナ(□)シ  
タルヲ原告人ハ此ノ才判ヲ不当シ控訴ナシタルノ所控訴ニ於テ  
原告ハ勝利ヲ得ヒ告(□)ハ敗ヲ取り河原治兵衛ハ惣代人ノ資格  
ナキモノナリトノ判決アリ(タリ)遂ニ(□)テ此ノ才判(□)確定  
ナシタルヲ以テ原告人共ハ欣喜シ該願書ニ奥印ナシタル河原兵  
衛ノ名ト印ハ删除セラレンコトヲ郡衙へ出願シタルモ(□)郡  
長ハ容易ニ之ニ応セス往再今日ニ至リタル所斯ク因循ノ手段ニ

テハ到底目的ヲ達セサルヲ以テ郡長ヲ相手取り河原治兵衛ノ氏  
名ヲ願書ヨリ删除セラレンコトヲ才判所へ告訴スルヨリ致方ナ  
シトテ既ニ南河原人民三四(□)十名ノ惣代人トシテ左ノ(者)  
三名ハ訴ヲ起スヨシ

御幸村南河原

齊藤 林 造

深瀬 佐 吉

全 丘 三 郎

右ノ景況ナルヲ以テ郡長ハ之ヲ和解セシメンカ為メ本村へ来リ  
旧戸長タリシ鳥養弥兵衛等へ対シ談話アリタルヨシ風評(アリ)  
ス

一吉田正春ノ運動

全人ノ運動ノ件ハ前号ニモ御報ナシ候通り頗ル熱心ノ模様ニテ  
昨十九日全人カ御幸村へ来リ旧村長タリシ鳥(「鳥」)養弥兵  
衛へ依頼シタルヲ以テ弥兵衛ハ吉田へ投票スルコトヲ承諾スル  
ノミナラス充分力ヲ尽スコトニ約束ヲナシタル為メ今迄山田党  
へ傾カントナシ居リタル全村ノ助役矢鳥幸吉ハ惣代鳥養ノ依頼  
ヲ承諾シ吉田党トナリ矢鳥幸吉ノ住居地ナル大字上平間ハ皆ナ  
吉田へ投票スル様勧誘スルコトヲ請合ヒタリト云ヒ亦鳥養ハ頗  
ル人望家ナルヲ以テ全人ノ周旋ニヨリ大字塚越下平間中丸子ハ  
大抵吉田ニ加担スルナラント云フ亦吉田ノ反対党ナル山田泰蔵  
(「造」)ノ為メ奔走スルハ全村字小向ノ齊藤牛(「丑」)之  
進或ハ字古川ノ石井源助ト云フ如キ人物ニシテ此ノ二名ノ如キ  
モ村内ニ於テハ屈指ノ勢力家ナルヲ以テ両党ノ競争ハ益々甚シカ  
ラント(云フ)スルノ模様ナルヲ以テ該村投票所取締モ頗ル注  
意ヲ要スルナラン

一大塚成吉ノ運動ノ悪評

全人ハ曾テ住吉村へ来リタル時選挙権ヲ有スル者へ対シ自分へ  
投票ヲナシ呉レルコトナレハ爾來代言弁護ノ勞ハ充分力ヲ尽シ  
無報酬ニテナサン云々ト申込ミタルヤニ風評セルモ確証ハ無之

候

一都筑郡川場（「和」カ）ノ立会演説

本日都筑郡川場ニ於テ大塚成吉田正春山田泰蔵（「造」）ノ三名ハ立会演説ヲナス手筈ノ所山田泰蔵ヘ差支ノ為メ出席セスト云フ（而）蓋シ此ノ立会演説ノ趣意ハ大塚カ人物ナルカ或ハ山田カ人物ナルカヲ比較シ其人物ナル方ヘ左担シ投票スル選挙人ノ心組ナルヲ以テ此ノ演説会ヲ開タリト云フ然ルニ山田ハ事故ニ托シ出席セサルハ卑劣ニシテ大塚及吉田ニハ及ハサルヲ以テノ故ナラン云々ト風評セリ

右臨時報告候也

明治廿三年六月廿日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【35】

秘川乙第五〇号

山田泰造

橘樹郡御幸村

齊藤牛（「丑」）之進

右兩名ハ衆議員選挙法第九十条違犯ト認メ取調ニ着手シ齊藤ハ本日一回ノ取調終了シタルモ山田泰造ハ所在不明ニ付勾引状ヲ発シ目下捜査中ニ有之候而シテ該犯則ノ概略ハ明治廿三年五月十五日午后四時頃兩名ノ被告ハ部内住吉村々長徳植竹之丞（此レハ吉田正春派）方ヘ至リ全人妻リンニ面会シ齊藤牛之進ハ山田ヨリンニ引合セテ曰ク之レハ山田泰造ト云フ御方デアル且ツ（之レハ）此ノ鹿品（桝織旭形三ツ折リ紙入一ヶ代価三十銭計リ）ハ山田サンノ御土産デアルト云フテ授与シタルハ山田泰造ニ投票ヲ得セシメンカ為メ亦山田ハ投票ヲ得ンカ為メニナシタル行為ト認メ候条詳細ハ追テ一件書類相添上申可仕先ツ不取敢此段上申候也

明治廿三年六月廿一日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【36】

秘川乙第五〇号

秘番外第一六号ヲ以テ投票所取締巡查増員ノ見込上申スヘキ旨御達ニ先チ増員請求ノ儀上申為ント心得居リタル際ニ有之既ニ秘川乙第五〇号ヲ以テ上申セシ通り衆議院議員選挙法罰則違犯トシテ山田泰造及齊藤牛（「丑」）之進ヲ取調ニ着手シタル景況ニ付右等ノ党员ハ或ハ之カ為メ一層激昂スルヤノ模様モ有之且ツ競争頗ル盛ナルヲ以テ尚ホ四名増員相成度（□□）其配置方左ノ如シ

住吉村投票所 三名

御幸村投票所 二名

日吉村投票所 二名

大師河原村投票所 三名

町田村投票所 一名

田島村投票所 二名

川崎町投票所 二名

合計 拾五名

右ノ外在署巡查 二名

惣計 拾七名

右上申候也

明治廿三年六月廿一日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【37】

秘川乙第五二号

山田泰造外一名犯則ノ件及（巡查）投票所取締巡查増員ノ義別紙謄本ノ如ク警部長ヘ上申候条此段御通報ニ及候也

明治廿三年六月廿一日

川崎分署長

警部 梶田定吉

橘樹郡警察署長

【38】  
秘川乙第五四号

定期通報

一 法律規則ノ發布ニ就テ人民ノ感情

民法訴訟法ノ事ニ付テハ何ニタル風評モ無之商法ノ事ニ関シテハ施行期限ノ早キニ過クルヨシヲ喋々スルモノアリ今其理由ヲ聞クニ該商法ノ条數ハ千六十条余ニシテ其文字タル平易ニシテ俗人ノ一見了解スル能ハサルモノ也少シク法律ノ事ヲ研究ナシ居ル者ト雖モ容易ニ条文ヲ解スル能ハス解セントセハ先ツ研究セサルヲ得ス僅々タル条數ナレハ研究スルモ容易ナリト雖モ千条余ノ条文ハ數年ノ間從事スルニアラサレハ解スルコト難シ況ンヤ直接利害ノ關係アル商人ノ如キハ商業ニ從事シ他ヲ顧ミルノ違ナキ程ナレハ一ケ年間ニ於テ商法ノ条文ヲ一通り解スル頗ル難事ナリ然ルニ商法ハ明治廿四年正月一日ヨリ施行ストアルヲ以テ商(□)人ノ迷惑ハ大ナルコトナラン故ニ商法ノ条文ヲ知ラサルヨリ猜忌ノ瞞着スル所トナリ大害ヲ被ル者或ハアラン(ハ故)之ニ由テ施行期限ヲ二三ケ年モ延引シ商人ヲシテ研究スルノ時間ヲ与フルハ必要ノコトナラン云々ト風評セリ

一 細民ノ状態

一 細民ノ甚シキ者ハ南京米モ碌々食スルコト能ハサルヨリ小麦ノカラ俗ニフスマト云フモノヲ輓キテ粉トナシ之ヲ団子ニシテ食スルヨリ忽チ脳病ヲ起シ疾病ノ為メ益々困難スル者アリ

一 或ハ南京米ヲ粥トナシ食スル者アリ又ハ南京米ト小麦ト混和シテ食スル者アリ或ハ南京米ノ粥ヲ食スル者アリ亦ハ麦コガシヲ食スル者アリ

一 食事ノ度數モ減シ二度位ノ者アリ且ツ此ノ二度モ前項ノ如キ粗食ナリ

一 貧民營業ノ種類ハ左ノ如シ

按摩 古物商 菓子小売 日雇稼 人力車輓子 大工 蛭壳

下駄齒入 屋根屋 船乘 紙屑買 カタマキ(「カタマキ」カ)  
神樂師 農力稼 桶屋職 米挽 籠製造 紙漉 紙仲買 素麵  
職 箱屋職 豆腐屋 湯屋 櫛屋 提燈屋 魚壳 鳶人足 諸職人

一 目下貧民ノ惣數大略左ノ如シ

八百四十五人

一 細民ニシテ家族多キモノハ七八人ノ者アリテ流行性患冒ニ罹リ医師ヲ迎フルコト能ハサルハ勿論買藥ヲモナスコト能ハサルモノアリト云フ亦家族カ病床ニ臥スハ忍ブベシト雖モ戸主タル者ニシテ疾病ニ罹リ忽チ口糊ノ道ヲ失フ者アリト云フ

一 添田収稅長

目下日吉村等ニ於テ起リタル說ニヨレハ(□□□□)吉田ト山田ノ競争極度ニ達シ自然義理惡シキ場合不少而シテ吉田ハ土地ノモノニアラス亦山田ハ学力等乏シク信用薄キヲ以テ寧ろ兩人ヲ捨テ他ニ土地ヨリ信用アルモノヲ撰挙セントスルノ様子ニシテ添田収稅長ハ適當ニ付全人ヲ撰挙スルコトハ宜シカラント云フ者アリ

一 日吉村々長深瀬啓十郎ノ決心

山田泰造ニハ多分ノ資金ヲ貸シタル者數名アリテ其一人ナル神奈川駅ノ某商ハ深瀬村長ヘ縁アルヲ以テ來リ說テ曰ク山田カ議員トナラサルトキハ吾ガ損害ハ些少ナラス何卒縁家ノ好ミヲ以テ山田ヘ投票スル様吾レヲ助クルト思ヒ周旋尽力ヲ乞フト然ルニ村長ハ断乎トシテ之ヲ退ケ足下ノ貸(□□)金シタル足下ノ勝手ナリ國家ノ大事ニハ我カ思想ヲ曲ケテ山田ノ為メ奔走スル能ハス亦投票スルコト能ハス云々ト答ヘタルヨシ風評ス但深瀬ハ吉田党ナリ

一 山田泰造ハ壯士ヲ使役ス

山田ハ壯士ヲ使役スルヨシニテ壯士ハ屢々選舉人宅ヲ訪ヒ吉田ナリ亦ハ山田ナリ何ニカ決定アラントヲ希望スルト云フテ迫リ迫ラレタル選舉人ハ止ヲ得ス山田ヲ贊成スルヨシヲ一時逃カ

レニ述ブルヤ直チニ手扣ヘ賛成ナシタル者ノ住所氏名等ヲ記シ  
斯ク賛成アル上ハ男子タルノ本分トシテ変心スルコトハナカラ  
ン万一变心スル等ノ事アルトキハ充分弁解ヲ求ムル抔ト云ヒ回  
ルヨシニ付目下視察ヲ加ヘ置候

一住吉村選挙人ノ迷惑

旧村長高橋善右衛門ハ山田ノ為メニ奔走シ新村長徳植竹之丞ハ  
吉田ノ為メニ尽力シ(各自)選挙人ハ大ニ拾捨ニ迷ヒ山田ニ投  
票スレハ新村長ヘ対シ相(□)濟マス亦吉田ヘ投票スレハ旧村  
長ヘ対シ面目ナシ如何ハナサント思案ニ余リ心配ナシ居ル者ア  
リト云フ

右報告候也

明治廿三年六月廿二日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【39】

秘川乙第五六号

去ル廿二日午后八時頃ヨリ川崎町八百卅六番地安藤清五郎方ニ於テ  
政談演説会ヲ聞キタルニヨリ臨監ノ上其景況ノ大略ハ不取敢上申致  
置候ニ就テハ別紙演説筆記謄本ノ如ク集会条例等ニ抵触スルコトモ  
無之亦衆議院議員撰挙ハ尤慎重ナルヲ要ストアル演題ノ如キハ大塚  
成吉ト吉田正春ハ議員ニ適當スル者ニアラス唯山田泰造一人ノミ  
適當ノ人物ナリト稱賛シタルノ趣意ナルニ吉田或ハ大塚ノ党派ニシ  
テ傍聴ナシ居リタル者ナキト見ヘノト云フ声ヲ発スル者ナク時々  
拍手スル者アルモ聴衆ハ百四十名計リナルモ車夫或ハ篤人足等ノ如  
キ賤業者ヲ以テ半数以上充満シタル模様ニ付演説ヲ解スル者少ク欠  
伸スル者アリ或ハ半ハ眠ラントシ亦ハ眠リタル者モアリタル儀ニ付  
場内ハ静(肅)カナル迄ニシテ全人ノ演説ニ感シタルト云フ程ノ者  
モナク(始終シ)午后十一時三十分頃閉会致候条此段上申候也

明治廿三年六月廿五日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

衆議院議員ノ撰挙ハ尤モ慎重ナルヲ要ス

諸君ヨ私カ今日此川崎ニ来リ此演説場テ満場ノ諸君ニ向フテ未タ(喉)  
ニ(喉)レナイ所謂唇ノ黄イ癖ニ演説トカ政談トカスルノハ実ニ生意氣  
ノ様テアルカ而シ諸君今日ノ雲行キ則チ今日社会ノ有様ヲ見ルニ嫌  
テモ応テモ私ノ知ル事丈ケハ諸君ニ御話シ申サナケレハナラヌ場合  
テアル故ニ吾輩カ厚釜敷モ演説会ヲ開ヒテ諸君ニ不弁ノ説ヲ一言演  
ヘ様トスル訳テアリマス借ソコデ私カ諸君ニ向テ演説スル事柄ハ何  
ニカト云フニ外ノ事デハナイ目下必要ナル事デ左ニ示ス処ノ衆議院  
議員ノ撰挙ハ尤モ慎重ヲ要スト云フ題テアル夫レハ如何ナル事柄カト  
云フニ鳥渡一口ニ云フタナラバ衆議院ニ撰ミ出ス所ノ議員ハ吾々三  
千九百万人ノ内カラ一粒撰リニ撰リ抜イテ之レニ参政ノ權ヲ授ケテ  
吾々人民ノ代表者トシテ国会議事塔テ吾々ノ得失ニ関スル政治上ノ  
事柄ヲ(喉)サシムル訳極メテ重ヒ任ヲ負フ所ノ者テアルカラ丁寧ニ丁  
寧ヲ加ヘ注意ニ注意ヲ加ヘテ適當ナル人物ヲ撰ハナケレハナラヌト  
云フ事テアル故ニ諸君モ能ク心ヲ留メテ余ノ言ヲ聞カレンコトヲ希  
望シマス私カ前以テ諸君ニ申置クノハ綜合的ト分析的ノ二デアル此  
ノ二ツノモノハ何レモ理学ニ基クト雖トモ何レモ其作用テアル俛令  
ハ今茲ニアル此ノ「コツプ」ハ如何ナルモノテ何ニスルカト其効用  
ヲ考ヘ其使用ノ方法ヲ搜ルハ綜合的テアル分析的トハ此「コツプ」  
ノ元素ハ何テアル又何ヨリ成リ立ツカト其成立ツ所ノ原質元素ノ考  
ヘハ分析的テアル今私カ述ル此演説ハ之レハ分析的テアル是レカラ  
長々敷クモ議員ノ資格カラ凡テ議員ニ関スル所ヲ述ベマス来月即チ  
七月ニ於テ吾々ノ代表者トシテ撰出スル所ノ人ハ吾々ニ代リテ国会  
議場ニ出ルモノテアルカラ己レノ主義ニ適ヒ自分ノ意ニ適スル相当  
ノ人テナケレハナラヌ苟クモ己レノ意ニ反シ己レノ主義ニ反スル所  
ノ人ヲ挙ケタラハ充分ニ租税ヲ減シテ貰ヒタヒト思フモ彼承知セス  
又此ノ法律ハ吾々人民ノ為メニ自由ヲ妨クル不都合ノ法律テアルカ  
ラ変更シテ貰ヒタヒト思フモ代議士其人カ法律ノ改正ヲ望マサレハ  
吾々ニ於テハ撰シテモ少シモ有難イ事ヲ感シマセン此ノ如ク代議士

ト云フモノハ不都合ナ条例タ又ハ不都合ナ規則タト思ヘハ充分ニ改正或ハ修正スル事カ出来ル位ノ権力アルモノテアルカラ今度此三郡カラ撰ム所ノ一名ノ代議士ハ宜シク人民ノ意志ニ合フ所ノ者ヲ撰ハネハナラヌ再三申ス様ダカ前ニ述ヘシ如ク議員其人ヲ得ナケレハ仮令立憲政体ノ下ニ立ツモノ矢張り藩閥時代ト少シモ違ハズ專制政府ノ下ニ居ル様ナ者ナリ若シモ專制政府ノ下ニ居ル様ナ有様テアツタナラハ吾々カ十年間モ東奔西走シタ功ナク又タ同志ヲ募リテ何ソ此政党ヲ組織スルモノカ此政党ヲ組織シタト云フ者ハドウカ我國ヲ立憲國トシテ吾々ノ自由ヲ束縛サレヌ様飽ク迄モ中央集権ノ弊害ヲ取り除キカネハナラヌト云フ事カラ政党ヲ組織シテ五ヶノ条文ヲ誓フタノデハナイカ其血ヲ降ラス否汗ヲ流シタ(組)結果カ立憲ト云フ二字ニ成ツタノダ此立憲ノ二字ヲ立ツテ柄ハ旧ノ如ク芋屋ハ芋屋餅屋ハ餅屋ト云フ以前ノ考ヘテハ行カヌ飯令鋤ヲ手ニ持ツ百性テモ算盤ヲ離サヌ商人テモ皆ナ全一ノ權利自由アルカラ飽ク迄モ權利ノ及フ限リハ政治ノ上ニ付テ運動ヲ試ミネハナラヌ斯ノ如ク商人テモ百性テモ己ニ業ニ自由ノ權ヲ得テ十年來待ニ待ツタ國會ノ開設ハ本年ノ十一月ト今僅カニナツタ然ルニ如何ノ訳カ今年ハ到ル所不景氣ノ声カ響シク彼処ニ貧民タ此クシタ此処ニ貧民カ此ク為タト云フ有様ノ時ニ際シナカラモ此不景氣ニ困ル時節中政黨員ハ矢張國家ノ為メニ奔走シテ居ル然ルニ吾々ノ上ニ位ニスル上流社会ヲ見ルニ現時吾國ノ有様ヲ知ラサルカ夫レ舞踏會タ夜會タト騒キ居テ朝ニ渴シタニ饑ユル如キ貧民ノ状態ニ氣付ケザル者アリ是等ハ家ニ居テ珍味ニ飽キ事ニ當ツテ巧クミニ法律ノ網ヲ逃カレ唯人ノ金ヲ取ル様ナ者カ随分アル故ニ近頃新聞紙上テ続々其非ヲ論シテ止マズ諸君ヨ諸君ハ是等之者カ上流ニ居テ國會ノ議員タトカ候補者ダトカ云フテ帝國議會テ政治ノ得失ヲ議スル事ガ万一有タナラバ如何テアル吾々ハ此不景氣ニ米ヲ買フ事テ出来ズ苦ルシテ居ルヨリモ猶一層苦シ目ニ逢ハナケ(ハラ)レハナラヌ故ニ今日ヨリ予シメ此シナ馬鹿ナ野奴アルカ如何タカ善ク其撰ム所ノ議員ノ品行等ヲ委シク察シテ 神聖ナル國會ノ議場ヲ汚サヌ様今日其弊害ヲ除キ去ル事ニ注意セナケレハ

ナラヌ唯体カ大イカラ立派タ貫目カアルカラ威光カアルト云フテ徒ラニ是等ノ者ヲ信シ矢鱈ニ撰マレナイ国会議員タルモノ、尤モ第一ニ必要トスルモノハ風俗ト習慣ト民情ヲ能ク知ラナケレハナラヌ土地ノ風俗習慣民情モ喙ニ知ラスシテ仏蘭西ノ政治ハ共和テ此ノ如クアルカラ仏蘭西カ宜シイ英吉利ノ立憲政体ハ氣ニ食ハヌ此ノ如クタト云フテ唯々外國ノ政略ニ法ツテ物事ヲシタ日ニハ大變ダ夫レナレハ一素ノ事外國ノ法律制度ヲ日本ニ担キ込ミ而シテ日本國ニ施スカ宜シイ此ノ様ニシタナラバ手数モ口数モ又タ騒ク事モ何ソニモイラズタガ決シテ其様ナ訳ニ行カヌ何ゼナレハ法律制度ハ風俗ト習慣ト民情ニ因ツテ作ラネハナラヌ柄ヲ若シ此三ツ一ツガ欠ケルト偏頗ナ法律カ出来ル故ニ地方カラ撰ム代議士ト云フ者ハ彼レカ學者タカラ學士ダカラ何ンテモ善イト云フ訳ニ行カヌ又ハ諸國ノ言葉カ出来ルカラ其人ハ代議士適當ダト云ハレヌ若シモ各國ノ語カ出来ルカラ立派ナ代議士トシタナラバ彼ノ税関官吏ハ適當ナ議員様ダ語カ出来ル計リテハ行カヌ然ラハ手柄ノアルモノハ宜シヒカト云フニ手柄計リデモ役ニ立タヌ役ニ立タヌ訳ハ見ヨ諸君獨逸ノ「ビスマルク」公カ國會ニ出ル時ニハ陛下カラ貴ツタ勲章ヲ美シク飾リ込シテ正々堂々ト出懸ル其時ハ此ノ勲章ノ功ヲ光カラシテ滿場ノ議士ヲ威カシテ議事ヲ推シ通ヌ様ニナル故ニ果シテ「ビスマルク」公カ言ハ獨逸國人民ニ利益ヲ与フルカ如何ニト云フニ至テハ計ル可カラス然ラハ君ハ如何ナル政策ヲ取ルカト云ヘハ吾々ハ英吉利ノ制度ヲ取ル而シ英國ハ怠慢ニ流レ易キ弊カアル如何トナレハ英ノ議員ハ自由ヲ專ラトスルカラ議士堂テ劇話ヲ言フ者モアレハ舞フ者モ歌フ者モアル實ニ外面上ニ不規律ノ様タカ一國ノ利害得失ニ関シテハ國民ノ為メヲ思フ事他國ノ見サル所テアル又英國ノ撰挙法ハ如何ト云フニ其區域ハ極メテ広ク如何ナル貧民テモ投票スル事カ出来ル夫レ故ニ吾輩ハ英國ノ如ク國民福利ヲ増進スル点ニ於テハ贊成シ又撰挙ノ區域ニ至テモ其広キヲ贊成ス然レトモ一得アレハ一失ヲ免レズ富者ハ貧者ノ投票紙ヲ買フノ恐れカアル夫レダカラ吾々ハ五円以上ノ直税ヲ納ムル者ヲ以テ撰被撰兩者ト云フニ仕タイト思フノデアル緒テ其処

テ衆議院ハ仮リニ善イトシテ此度ハ貴族院ノ事タ吾々ハ此貴族院ノ事ニ付テハ飽ク迄モ改良ヲ試ミネハナラヌ見ヨ諸君彼ノ貴族トカ華族トカ云フ者ハ先ツ如何ナル人物カ集合スルカト云ヘハ多クハ古昔殿様トカ呼ハレタ者カ多ヒ此輩ノ如キハ明治ノ政体ヲ知ラナイモガ沢山アルト考ヘラル昔シ租先カ戰場ニ於テ千軍万馬ノ中ニ槍ヲ提ケテ功名シタ其御蔭ヲ高擧ヲ貫ヒ無<sup>マ</sup>駕<sup>マ</sup>夢ノ中ニ育チ上ツタ子孫カ幾等モアル夫レ故ニ無暗ニ威張ルコトハ知ツテ居ルガ今ノ世ノ有様等ニ注意スル者ハ少ナイ而シ中ニハ充分ニ教育ヲ受ケタルモノモアランカ事情ニ鈍イ然ルニ此貴族ノ中ニ今迄勤<sup>マ</sup>謙<sup>マ</sup>ヲ以テ育ツタ百性カ出懸ケ様ト云フノダカラ並々ノ事テハ行カヌ非常ノ働キヲセナケレハ貴族院丸ルテ腐<sup>マ</sup>敗<sup>マ</sup>シテシマウ此故ニ英國ナゾハ貴族院ハ不必用タ役ニ立タヌト随分攻撃説カ起ツタ而シ我日本デモ何ニモ知ラナイ貴族ノ野奴カ平氣ノ平テ国会ニ出懸ケ政治上ノ事ヲ議ソウナゾトハ可笑クモ臍<sup>マ</sup>テ茶<sup>マ</sup>ヲ騰<sup>マ</sup>ス至リダ而シ只夫ノミナラズ議事ノ結果カ野ニ虎ヲ放ツヨリ甚タシヒ害カアル虎害ハ其時限りダカ議員カ議シテ決シタ法律ノ当不当ニ因テハ後來ニ迄テモ害毒ヲ流シ且ツ國權ヲ傷クルニ至ル故ニ吾々ハ虎ノ害ヲ恐レズ貴族ノ害ヲ恐ル虎カ死シタ時ニハ其皮ヲ剥キテ売レハ幾何ノ価ニナルカ貴族等ノ皮ハ何ニモナラナイ貴族ノ事ニ付テ私カ人カラ聞ヒタ事カアル夫レハ東京ニ居ル或ル貴族様ダソウダカ下三大夫カ當時ノ不景氣ニ感シ貴族ニ申スニ殿様此不景氣ニ遊<sup>マ</sup>ンテ居テモ行カヌ柄炭屋ノ初メテハ如何タト相談シタ故ニ貴族ハ尤ノ事タト早速承知シテ直クニ炭屋ノ初メタソウダカ而カスルト朝カラ晩マテ客カ来テ実ニ繁昌スルノシナイデハナイ目ノ廻ル様ニ繁昌シタト云フ而シテ半年計リ経テ會計シテ見タ処カ金カ足りナイ如何シタ事カト能ク能ク考ヘテ見タラ毎日食フタ米ノ代ヲ入レナカツタト云フ話カアルカ今は等ノ様ナ貴族ガ国会議員トナツタ日ニハモウ方無シタ此ノ十一月ニ至テ開ク国会ハ炭ノ勘定処デナイ千軍万馬ノ中テ血ノ刀ヲ提ケテ戦フ如ク數百年來吾國ニ施キ來ツタ処ノ惡弊ヲ掃ヒ除ケル時デアル即チ第一ハ政府自身曖昧ナル財政ノ事タ第二ハ干涉主義ヲ除去スル事第三カ法律ノ改正第四カ租稅輕減ノ事先ツ是等ノ事

ヲ第一着ニ改良セネハナラヌ彼ノ貴族等カ指ニタイアメントノ指環ヲ穿チ毎日トラブ(「トランプ」カ)計リシテ居テハ實際人民ニ適當ナル法律ヲ議スル事カ出来ヌ苟クモ議スル事カ出来ナカツタナラハ如何テアル到底剛情ナ山懸内閣ニ向ツテ敵スル事カ出来ヌ山懸内閣ハ平凡ノ相手デハナイゾ故ニ吾々ハ充分ノ働充分ノ力ヲ以テ議場ニ登ラナケレハ山閣伯ヲ倒ス事ハ出来ヌ山懸伯ハ功勞モアリ又實際經驗ニ富ム所ノ人テアルカラ半身不隨ノ議員ハ尤モ注意セナケレハナラヌ故ニ諸君カ今日ノ急務トスルハ一粒<sup>マ</sup>撰<sup>マ</sup>リノ三百ノ代議士ヲ撰出スルニハ宜敷ク些細ノ情実ヲ抛チテ物事ヲシナケレハナラヌ誰レハ倅ノ嫁ノ親類テアルカラトカ又ハ不<sup>マ</sup>斷<sup>マ</sup>彼<sup>マ</sup>ノ人ニハ非常ニ世話ニナルカラ投票ヲ入レネハナラヌ又ハ誰カラハ御土産ヲ頂戴シタカラ彼ノ人ニ投票仕様又ハ村長サンカラ彼ノ人カヨイト云タカラ彼ノ人ニ致タソウナゾト少シ計リノ情実ニ欺(「欺」カ)マツテ決シテ投票ナゾスルナ自分ハ此人ハ特<sup>マ</sup>ニナラナイ人ト思フタラ投票スルニ及バナイ事ハ当然ノ事テアルガ苟クモ此情実ヲ以テ投票シタナラバ后日シナケレハ善カツタト思フテモ最早取り返シカ付カヌ我日本ノ人民ハ廉直ナ人カ多ヒカラ此様ナ風ハナイカ歐洲諸國テハ賄賂トカ贈与トカ撰挙ノ時ハ盛<sup>マ</sup>ンニ行ハル、ト聞ク其所デ上手ナ奴ハ撰挙者ノ厨ニ這リ込ミ酒或ハ醬油樽ノ如キ物ヲ送ルト其実ハ酒又ハ醬油ニアラスシテ其中ニハ金錢ヲ入レテ置クノダ又投票一枚カ五円カラ五十円位ノ相場ニ登ルト聞イタカ我國ナゾハ此ノ如キ醜行ヲ起シタク無ヒモノタ而シテ議員ヲ撰ブニモ貧乏人即チ無財產ノ奴ヲ撰ムト東京府会ニ汚名ヲ流シタ夫々<sup>マ</sup>福知(「地」)源一郎ノ如キ仕業ヲスルモ知レナイ夫レ故ニ何処テモ議員ヲ撰ムニハ廉恥ヲ重ンスル人テ且忍耐ノ強イ人而シテ又タ人民ノ為メニ尽力スル人デナケレハナラヌ諸君議員ヲ撰ムハ源三位頼政ガアヤメノ姫ヲ列女ノ内テ撰<sup>マ</sup>ンタ様ニ適當ナ人物ヲ撰ベヨ今神奈川県第二区ノ列女ハ吉田正春及大塚成吉ニ山田泰造ノ三名タ此ノ内テ撰ムハ諸君ノ腦中如何ニアル此ノ三名ノ者ニハ交際モシ又人ト為リモ少シハ知ツテ居ルカラ諸君ニ向ツテ御話シマシヨウ諸君第一ノ吉田ト云フ人ハ体格ト云ヒ容貌ト云ヒ実ニ立派ナ人タ加之ナラス英仏獨ノ三語ハ出来ル

シハ家文ノ暗誦ヤ康熙字典ハ能ク調ヘテ知ツテ居ル人々亦政論社ニ於テ三四十円ノ月給ヲ取り尻リ押シニハ通信大臣後藤伯カ扣ヘテ居ルカラ大ニ氣強イダガ諸君今此人カ国会議員ニ相当スルカト云フニ私ハ相当シナイト思フ如何トナレハ仮令三國ノ語ニ通スルモ又八家文ヲ暗誦スルモ後藤伯ノ尻押カアルモ此ナ事ハ議場ニハ少シモ必用テナイ国会テハ政治上ノ事ヲ議スルノデアルカラ法律ノ原則ヤ經濟ノ原理位ハ知ラナケレハナラヌ私カ此吉田ヲ信用セナイ所以ハ一破廉恥ノ奴テアル故信用シナイ其事ヲ挙クルト吉田ハ横浜テハンカチーフ事件即チ詐欺取財事件ニ付イテ拘留サレ漸クノ事テ免訴ニナツタノタ之レカ第一ノ事テ第二ハ伊藤伯ニ從ツテ洋行シタ時ニ独逸ノ陸軍大佐ノ妹ヲ妻ニ貰ツタカ夫レモ味嗜ヲ播ルニ播ツテ漸クニ貫ラツタノダガ如何ニモ吉田ノ生計ノ度カ低イカラ大佐ノ妹カ欺カレタト云フテ腹ヲ立テ終ニ離縁トナツタ第三ハ借財ノ多ヒ人テ先キ頃東京テ財産取押ヲ食ツタ此ノ如キ人物デアル故賛成カ出来ナイノダ次ハ第二区カラ出様トスル人ハ正々堂々ノ代言人自カラ法律学校長カラ免状ヲ受ケタト大言ヲ吐キ散ラシテ居ル大塚成吉ト云フ人々此人ハ如何ント云フニ不道德ノ人タカラ賛成シナイ其証ヲ挙クルト此大塚カ免状ヲ受ケタト云フカ卒業免状テハナイ医者カ医学校ヲ卒業シナイデ内務省ノ免状ヲ受クルト一般テ特別ノ御詮議テ貰フタノダ国会議員トデモノロウト云フ人カ自身テ自分ノ身ヲ譽メテ衆人ノ甘心ヲ買ワンナゾト計ル者カ在リマセウカ何ト諸君拙キ奴テハナイカ夫レテ又大塚ニ言フコトカアル此大塚ハ諸君モ知ラル、通り改進黨員テ立派ニ名簿ニモ登ツテ居ナカラ過日横浜ニ於テ演説ヲ開イタトキニ何ント言タカ私ハ是レカラ改進黨ニ關係ノナイ者ニナツタト高言シタ今其舌ノ根ノ乾カヌニ今度自分カ国会議員トナリタヒカラト云フテ高言シタコトヲ忘レ窮カニ改進黨ノ名義ヲ担キ出シテ地方ノ有士ヲ集ムルトハ何ントマア良心ニ恥チタ事テナイカ一体此ノ人ノ得意ハ何ニカト云フニ此ノ人ハ馬ニ乗ルコトカ上手ダ而シ諸君幾等馬ニ乗ルコトカ上手テモ国会ノ議場ニハ役ニ立タヌ少シモ必用カナイ諸君ハ此馬乗ノ上手ナ人ヲ以テ議員タル資格ヲ備フルモノトスル

カ吾々カ十年一日ト思ヒニ思ヒ待ツタ神聖ノ議場ニ此ノ如キ精神漂々タル人物ヲ撰ハレマシヨウカ実ニ賛成ノ出来ヌ事テアル次ハ代言人山田泰造テアル之レハ適當カ如何ト云フニ一概ニ適當ト譽メル事ハ出来ヌ事カアル夫レハ何カト云フニ此ノ山田ハ學問上ノ事ト語學上ノニ付テハ吉田ニ及ハナイ又大塚ニ較フルト馬乗モ下手タ而シ農者ヨリ出テ法律家ト云フ程テモナイカ多少法律モ知リ学力經驗及ヒ資産モアリテ衆議院議員被撰挙権ヲ有スル適當ナ人テアルノミナラス本人モ又之ヲ望ムハ感服至極ノ事タ一体山田ハ事実家ニシテ物事ニ極ク周密ナ人々吾々黨員カ立憲政体ヲ形作ル迄ハ乱暴人トカ氣違ヒトカ云ハレ時々集會条例或ハ保安条例ニ触レテ放(還)逐サレ甚タ敷キハ石川島ノ監獄等ニ送ラレタ者モアリテ実ニ非常ノ目ニ会ツタ矢張此山田モ吾々ト全シク放逐サレタ仲間ダガ山田ハ自由黨員ニハ珍シイ温良ナ人物テアル吾輩ノ目カラ見ルト第二区人カ撰出スル議員等ハ是等ノ人カ先ツ適當ナ人テアル又此人ヲ除キテハ外二人カナイ故ニ吾輩ハ此ノ山田ヲ挙ケテ今迄施(キ)来リタ政府ノ弊害ヲ除去シ吾國ヲシテ立派ナ立憲國ト為シ歐米ニ向テ一步ヲ讓ラサル獨立國トセンヲ望ム

明治廿三年六月廿二日

筆記者

角田練次

自由党ノ黨議ヲ積義ス

私ハ今マーツ此ノ自由党ノ黨議ヲ積義スト云フ題ヲ演ヘルカ是ニハ廿六条アルガ一々綿密ニ演ヘタイカ余リ長クナルカラ大体丈ケヲ諸君ニ演ヘマス此ノ自由ト云フ主義ハ誰レテモ山田ニシロ大井ニシロ国会ニ出ル者ハ皆ナ持テ出ルノダ儲テ此ノ自由ト云フモノハ人間ノ体ニ附随シタ所ノモノダカラ決シテ他カラ抑制スルコトカ出来ヌ自由ト云フ事ニ付テハ假令保守テモ改進黨モ希望セヌモノハナイ故ニ自由カ天下ニ必用ノモノテアル事カ分カル苟モ人々心ノ自由ヲ望マス自由ハ社会ニ害アルモノタ天下國家ヲ傷クルモノタ云フ者アラバ吾党ニ向ツテ其不都合ナル処ヲ述ヘヨ自由ノ利アリテ害ノナイコトハ我カ政府モ既ニ認ムル処ダ夫レタカラ此ノ自由ヲ差止メナイノ

テアル吾々カ明治十年ニ此ノ自由党ヲ組織シテカラ邦國ノ弊害ヲ除キ立憲國トシタノモ此ノ自由党ノ尽力タ実ニ高木ハ風ノ為メニ枝ヲ折ラル、ト云フカ実ニソウダ吾党ニ反対スル彼ノ卑劣ナ改進黨ノ奴等ハ何ヨ云フカ明治政府ハ自由党嫌イタ夫レハ租暴<sup>(3)</sup>ダカラ乱暴タカラト云フカ是ハ改進黨ノ覆言タ自由党カ性質乱暴租暴<sup>(3)</sup>ノ振舞ヲ有スルモノニアラス而シ社会ノ為メニ害ヲ除キ國利ヲ計リ民福ヲ増進セント欲スルハ吾党ノ精神タカラ時ニハ其熱心過キテ激ニ渡ルコトモアラン是等ノ事ハ却ツテ人民カ喜ハナケレバナラヌ時ニ集會條例或ハ保安條例ニ触レテモ吾々ハ改正スル事丈ハ改正スル積ダ第一目下吾々カ改正シタイト思フノハ此ノ氣ニ食ハヌ集會條例タ吾々ハ此ノ條例ノ為メニハ如何ニ自由ヲ束縛サル、カ知レヌ殿州諸國ノ有様ヲ見テモ吾國ノ新聞條例ヤ集會條例ノ酷ナルコトカ分カル一昨々年政府ハ些細ノ事ニ付テ保安條例ヲ發布シテ吾々ヲ三里以外ニ放逐シタカ此ノ事ナゾハ実ニ不都合タ元老院ノ會議ニ付セス出シ抜ケニ彼ノ山懸伯カ発シタ諸君ハ此ノ條例ナゾハ正當ノ順序ヲ經タ条ト思フカ正當ノ手續ヲ經タ條例テナケレハ厭制<sup>(3)</sup>ノ條例トモ云フテ可ナリダ英米諸國ナソ革命ノトキハ上書ヤ建白位ハ有リ勝チタ夫レヨドウテスカ吾カ政府カ発シタモノタカラ西洋人ハ大層驚イテ日本ニハ戦争カ始マツタ騒動タ起ツダト云フタ事ヲ聞イタ何ント外國ニマテ些細ノ事テ響カセルトハ余リノ仕方ダ吾々ハ此ノ后チ政府カ又モヤ此ノ様ナ事ヲ為サレヌ事ヲ望ム政府カ如何ニ金ノ矢來ヲ造ツテ是カラ越ヘテナラヌゾト云フテモ吾人ノ体ニ自由カアリ又社会ニ弊害アル事タト認メレハ生命ヲ抛ツモ此ノ矢來ヲ越ヘテ社会ノ為ニ尽力セネハナラヌ何セナレハ今迄ハ吾々人民一向政治上ニ關係ノナイ体テアツタガ今度ハ立憲政体トナリ凡テ吾々カ政治上ニ關係ヲ有スルコトニナツタカラ苟モ我國ニ失策ガアルト政府ノ失策ト云フワケニ行カヌ日本國民ノ失策ト云フニナル此ノ如ク善キモ悪キモ國民カ責ヲ負フ故ニ吾々カ充分ノ働ヲセネハナラヌ米國ノワシントシカ協和ノ政治ヲ取リ立憲ノ基礎ヲ立ツルモワシントシノ功テナイ米國民ノ働キダ又英國ノチャーレス<sup>(3)</sup>イ十四世カ断頭場ニ登ルモ政府ノ業テナイ英

國人民ノ業タ凡テ此ノ様ナ訳ケテアルカラ吾々ハ我國ノ為メト思フタラ假令三里外ニ放逐サレテモ石川島ノ監獄ニ繋カレテモ身ヲ犠牲ニ供シテ我國ヲ保護セネハナラヌ今マ吾々カ我國ノ為メニ害ヲ除クト思フノハ第一カ条約改正ノ事タ是レハ日本カ殿米各國ニ対シテ對等テナイ此ノ條約ノ事ニ付テハ明治廿年ニ井上伯カ條約ヲ改正セヨウトシタカ連帶ノ談判テ條約ハ毫モ對等テナイ夫レ故日本ノ御雇僞國人ポアソナードデサヘモ不賛成ヲ唱ヘタ外國人テスラ賛成ノ出来ヌ條約トウシテ吾々カ賛成カ出来マセウカ此ノ不對等ナ條約ヲ伊藤伯ヤ井上伯ハ知りナガラ結バフトシタカ果シテ然レハ此ノ兩伯ハ國權ヲ強ユルモノト云ハナケレバナラヌ而シ彼等ハ良心ニ恥チタカ宮中顧問官トナリ或ハ職ヲ退ク等ニナツタ之レテモウ善イト思フタラ今度ハ改進黨ノ親玉カ出懸ケ井上伯カ取ツタ改正條約案ニタント違ハナイ條約案ヲ持チ出シ之レヲ以テ條約ノ改正ヲ仕様トシタカ是レモ駄目ダ御敗ケニ葉骨折ツタ上ニ爆裂彈<sup>(3)</sup>（「彈」）ト云フ奴カ飛ヒ込んテ足ヲ打チ飛ハシタ実ニ大隈伯ニ對シテハ御氣毒ナ訳タカ而シ不對等ノ條約ヲ結ハレテ日本國カ災ヲ蒙ルカラ見ルト其害ハ一身ニ止マルカラ善イ一体改進黨ノ奴等ハ變シナ所ニ目計リ着ケテ居ルカラ凡テノ事ヲ仕損スルノタ吾々ノ精神ハ日本ノ才判所ニ外國ノ才判官ヲ用ユルナラ矢張り外國ノ才判所ニ日本國ノ才判官ヲ用イナケレバ承知カ出来ヌ是レ故ニ吾党カ對等ノ條約ヲ望ムノダ而シテ又吾々カ第二ニ望ムノハ責任内閣ヲ建ツル事ダ内閣諸公ニ責任ト云フ一ツノ荷物ヲ負ハセネハナラヌ然ラサレハ芋ハ芋テ矢張り藩<sup>(3)</sup>レテモノ制ヲ改メルコトカ出来ヌ全体職務上為シタ事ハ大臣テモ誰レテモ後マテ其責ヲ負ノハ当然ノ事タ而ルニ今迄ト云フモノハ其責カナイカラ恰モシタイホウダイノ事ヲ為シテ居ルノダ故ニ責任内閣ヲ建テネハナラヌ訳ケダ其次ハ撰挙及被撰挙ノ兩權ヲ低クスル事ダ此ノ權ヲ低クシナケレハ金ノ無イ所貧乏<sup>(3)</sup>之人ハ世ニ國會議員タル適當ノ人物カアルモ金ノ無イカラ撰挙ノ仕格ヲ失ヒ為メニ投票スルコトカ出来ヌ憐レナ目ニ遇フ場合ニナル而シテ又一ケ年其地ニ定任ノモノナケレハ行カヌト云フハ不都合タ仕格ノアルモノナラ一年定任シテ

居ロウカ居マイガ此ノ様ナ事ニカマワス誰テモズン〜出来ル様ニ  
シナケレハナラヌ故ニ撰挙ノ区域ヲ広クスル事ヲ望ムノダ其次ハコ  
ンダ地租軽減ノ事ダトウシテモ地租ハ減シナケレハナラヌ誰レニ遇  
フテ聞クモ租税ハ重イト云フ成ル程重イ筈ダ政府ハ無駄遣ヒカ多イ  
カラダ何セナレバ一寸云フテモ直ク分カル政府カ非職ノ官吏ニ三分  
一ノ月給ヲヤル吾々ハ政府カ何故ニ三分一ノ月給ヲヤルカ分カラナ  
イ元来官吏ニ俸給ヲヤルト云フハ官吏カ職務ヲ取ル其勞ノ賃錢ダ然  
ルニ職務ヲ取ラナイモノニ三分一デモ月給ヲ遣ルト云フハ不都合タ  
総テカ此ノ様タカラ租税ヲ多分ニ人民カラ徴収セナケレハナラヌ様  
ニナル諸君是カラマダ廿六条ノ事ハ余程アルカ何分時間カナイカラ  
爰テ止メテ置ク

明治廿三年六月廿二日

筆記者

角田鍊治

### 【40】 秘川乙第五号

本日午后八時頃ヨリ川崎町八百卅六番地安藤清五郎方ニ於テ政談演  
説会ヲ開キタルニヨリ臨監候所聴衆百四十名計リニテ閉会シタルハ  
午后十一時三十分頃(ニシテ)弁士ハ伊藤仁太郎一名ニシテ場内静  
粛演題ハ二題ナルモ畢竟其論旨ハ第二区ヨリ撰出スヘキ議員候補者  
トシテ奔走ナシ居ル者ハ吉田正春大塚成吉山田泰造ノ三名ナルモ山  
田泰造ハ外二名ノ者ヨリ正廉ニシテ剛毅ノ名士ナルヲ以テ全人ヲ撰  
出スルノ得策ナル旨ヲ喋々シタルニ過キズ追テ詳細ハ演説筆記相添  
上申可仕先ツ不取敢此段上申候也

明治廿三年六月廿二日 川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

\* (印文) 「神奈川県川崎警察分署長」

政談演説開會御届

右ハ本月二十二日午后七時ヨリ橘樹郡川崎町堀ノ内八百卅六番地安  
藤清五郎方ニ於テ開會仕度仍テ別紙論題事項書相添ヘ此段御届申上

候也

右会主

横浜市羽衣町二丁目

五十四番地平民著述業

伊藤仁太郎

二十四年

明治二十三年

六月十九日

橘樹郡警察署長

警部 黒河内良殿

\* (印文) 「明治廿三年六月廿日午前九時、第二八三三号」 (傍線)

部は墨書)

(「割印」)

書面届出之趣認可ス

橘樹郡警察署長

警部 黒河内良

明治廿三年六月廿八日

論題事項書

一 衆議院議員ノ選挙ハ最モ慎重ナランコトヲ要ス  
事項 立憲政体ト国会トノ干係ヨリ説起シ其国会議員ノ責任ハ  
最モ重大ナルモノナレバ苟モ之ヲ選出スルニ方ツテ注意周到  
ナラザル時ハ将来ニ至リテ如何トモスル能ハザルノ禍害ヲ惹起  
スニ至ルベシト論断シ猶ホ我県下第二区選挙人が候補者ヲ定ム  
ルニ付テハ最モ慎重ナル考ヲ要ストノコトヲ説キテ焉トス

一 自由党ノ党議ヲ積義ス  
事項 自由党ガ從來ノ歴史ハ稍ヤ破壊ノ傾向アルガ如シト雖其  
目的トスル所ハ建設的ニアリトノコトヲ説キ是レガ証明トシテ  
近日世上ニ発表セシ二十六党議ノ解釈ヲナス

以上二題

横浜市羽衣町二丁目

五十四番地平民著述業

伊藤仁太郎

二十四年